

会員の
ひろば

私のお薦めコーナー リニューアルした北大総合博物館

知本康男

昨秋、何度か北海道大学へ足を運ぶ機会があり、その際に訪ねた北海道大学総合博物館を紹介いたします。

北大総合博物館は1999年(H11)に、全国の大学博物館としては4番目に開設されました。館舎は昭和4年に建造された旧理学部本館を使用しており、モダンゴシック風の重厚なイメージはまさに博物館としての威厳を備えた建造物と言えるでしょう(写真-1)。



写真-1 北大総合博物館のたたずまい

本館は耐震補強も兼ねた大改修を経て、2016年(H28)7月にリニューアルオープンしました。リニューアルに伴い文系学部や医学系学部の展示ブースも加わり、総合大学らしいラインナップに拡充されました。また、単なる学術展示に留まらず、シンポジウムやセミナー等が充実しており、市民に開かれた博物館活動が積極的に展開されています。館内イベントも多岐に渡っております。ある晩に訪問した際は、1Fカフェでのクラシック四重奏(生演奏)が館内に響き渡っており、とても幻想的な雰囲気を感じました(数十年前は守衛さんの深夜の尺八が有名でしたが…)。

ここで見所をひとつ。館内中央には三階まで吹き抜けの螺旋状階段があり、採光構造となる吹き抜け天井部は曲線形の白壁となっています(写真-2)。ここはアインシュタインドームと愛称され、建築学に造詣の念が無くても、多くの方は美しい造形美を



写真-2 吹き抜け天井(アインシュタインドーム)

感じ得ることでしょう。この白壁の四方には四つのレリーフ(写真-3)がはめ込まれています。実はこのレリーフには研究・学業に対する重大なテーマが隠されています。答を知りたい方は、是非訪問して謎解きにトライしてみてください。



写真-3 四つのレリーフが意味するのは？

館内にはミュージアムショップやカフェが増設され、北大オリジナルグッズも入手可能です。入館料は無料です。道外来訪者を観光で案内するには名所になること間違いありません。ちなみにリニューアル後は札幌時計台に匹敵するほどの来館者を迎えているそうです。是非、一度足をお運びなられては如何でしょうか。開館時間や詳しい場所についてはHPにてご確認ください。

知本康男(ちもと やすお)
技術士(建設/応用理学/総合技術監理部門)

基礎地盤コンサルタンツ(株) 北海道支社

